

大分大学教育学部同窓会(豊友会)大野支部便り

2021年3月

「地教委へ大型テレビ寄贈」

豊友会豊後大野支部会長

久保田 正治

会員の皆様こんにちは。2020年11月24日、私は内野貴文、山田忠司両幹事さん3人で「かじか」を訪問し、皆様を代表して大型テレビを寄贈しました。

豊友会は、一つは母校大分大学教育学部の充実発展を支援し、今一つは会員総合の親睦や研修を深めることを目的としています。県本部では大学生の支援事業として、経済的な理由で就学が困難な学生に対しての「就学支援事業」や部活動を支援するための「学生支援協力」の取組をすすめています。さらに今年度は、コロナ禍における支援として、100万円を贈呈しました。



大野支部でも支部会員総合の親睦と研修を目的に、「教育講演会」を開催するなどの事業が行われてきた経緯があります。ところが今年度は新型コロナウイルスの影響で、これまでとは違った取り組みが求められ、豊友会として何ができるのか役員会や三役会で検討を重ねてきました。その中でコロナ禍による子どもたちへの影響を心配し、不登校の児童・生徒へのオンラインによる家庭学習支援などのご意見がありました。

「教育機会確保法」が2017年に施行されたことにより、学校以外の場での学習活動支援が進められるようになりました。大野町にも2019年「このね自由な学校」が新設され、子どもたちが生き生きと学べる居場所を提供しております。

増加傾向にある不登校の問題に対応していただける「かじか」と相談した結果、環境整備としてテレビが必要とのことでした。早速5万円の大型テレビを寄贈し、オンライン授業等にご活用いただくことになった次第です。事後報告になりましたが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



新型コロナのワクチン接種の報道がされていますが、収束には程遠く私たちの生活は引き続き大変なご苦勞を強いられると思います。体調管理に十分にご留意され、元気にお過ごしください。

*贈呈式のことについて、「大分合同新聞(2020.11.28)朝刊」と「市報ぶんごおおの1月」に掲載されています。